



## 門田 淳 議員 … 5 件の一般質問

### 新幹線工事落札業者への要望活動は

町長：オール倶知安で要望活動を行っていく

**門田** ①二ツ森トンネル工事落札業者に対しての要望活動を通しての波及効果。  
②羊蹄トンネル落札業者に対しての要望活動は。

**町長**

①工事事務所と宿舍は、国道5号線

沿いの北6条東1丁目に建設され、宿舍は、単身者用として約50室を準備し、宿舍を利用しない家族での赴任者は、町内での賃貸住宅を想定している。と聞いているが、来春以降に順次、トンネル掘削作業の本格化に合わせて、作業員の赴任もふえていくと思われる、一定の波及効果が見られる。

②羊蹄トンネル比羅夫工事は、11月の入札後、12月7日に奥村・山田J.Vの代表となる奥村組に対し、町長、議長、商工会議所会頭の連名にて要望活動を行ってきたところで、要望内容としては、さきに述べた二ツ森トンネルと同様、工事事務所、宿舍の町内建設と、建設資材や食料等の地元調達のため2点となっている。

給食センター(地産地消食育センター)

**門田** ①地産地消食育の次年度に向けての取り組みの具体策。

②新たなメニューへの取り組みについて。

**教育長**

④4月からの新センター稼働に向け、

現在、さまざまな準備を進めているが、今後関係機関と協議をしながら、子どもたちが学校給食を通して生産者へ感謝する心や、地域の食文化に対する理解を深めることができるよう、給食の提供に努めていきたい。



地産地消食育センター

また、新たに学校給食を活用した食育として、ひな祭りに「ちらしずし」などの季節や伝統的な行事と関連した食事を提供したり、郷土の歴史を理解し、郷土愛を育む心が育てることができるよう「石狩汁」などの郷土料理を提供するなど、

さまざまなアイデア献立に関する情報を収集しながら、検討を行っている。  
②新センターでのメニュー作成については、栄養教諭を中心に検討しているが、このたび決定した調理委託業者からもさまざまなアイデアを提示してもらいながら、何よりも子どもたちが喜んでくれる、安全でおいしい給食の提供に向けて努めていく。

統合保育所開設に伴う保育士について

**門田** ①平成30年度開所に向けての保育士の確保について。

②臨時保育士の確保についての具体策について。

**町長**

①現在、正規職員17名の保育士は17名、子育て支援センターの職員1名を除くと16名となり、幼保再編支援基本方針においては19名となっていることから、3名の補充が必要となる。来年3月で2名退職する職員補充分を合わせて、来年度5名の採用をするが、平成30年度においては1名を採用する計画となっている。

開設する平成30年度においては、非常勤等職員12名を予定しているが、具体的配置職員については、現場の保育士の意見を考慮した中で採用する予定。  
②臨時保育士の確保について、現実問題、正規職員の確保より難しい課題である。

雇用の不安定さ、低い賃金体系など待遇改善なくしての確保は、非常に困難な状況だ。現在、先進地の対応を参考にしながら、他の有資格臨時職員も含めて研究・検討して早急に対応したいと考えている。

**門田**

待機児童解消のためには、臨時保育士・パート職員・調理員等有資格者や経験を積んだ職員の安定した雇用が必須と考えられるが、1年更新により3カ月の期間をあけるために、日々雇用などの不適切な対応がされている。

雇用されている臨時職員は、その期間、社会保険、雇用保険に加入されず、通勤手当なども支給されないなど、不利な条件を受け入れている状況である。他町村が取り入れている準職員制度も検討し、保育所運営のために安定した雇用が図られるよう早急に対応を講ずる必要がある。

**町長**

できるだけこれは早い段階に、雇用の確保に向けての対応策としての処遇については、何らかの形で改善しなければならぬ。

\*その他に、「定員適正化について」「ふるさと納税について」に関しての質問を頂きました。